

令和6年11月20日

報道機関各位

青森県こども家庭部県民活躍推進課

「令和6年度前向きに生きる力を育むふれあいミーティング」の開催について

県では、仲間や地域住民との対話を通じて、自己や他者を肯定的に受容する心を醸成するとともに、地域全体でこどもたちを見守る環境づくりを進めています。

この取組の一環として、こどもたちが未来に向かって前向きに生きる力を育むことを目的とした「前向きに生きる力を育むふれあいミーティング」を県内の中学校及び高等学校（全6校）で実施することとしており、このほど、その5校目と最終の6校目を、下記のとおり開催しますので、取材・報道についてよろしくお願ひします。

記

1 実施校等

学校名	日時	場所	参加者
十和田市立第一中学校	11月27日(水) 13:45~14:45	実施校体育館	全校生徒 40名 地域住民 11名 青森大学学生 10名
八戸市立第二中学校	11月28日(木) 13:40~14:40	実施校体育館	第1学年生徒 104名 地域住民 17名 八戸学院大学学生 20名

2 コーディネーター 平間 恵美 氏

(特定非営利活動法人はちのへ未来ネット 代表、
青森県教育委員会 教育委員)

3 内 容

中学生、地域住民及び大学生でグループを作り、「思いやり」について一緒に考えるワークショップを行う。

4 その他

参考資料 令和6年度前向きに生きる力を育むふれあいミーティングについて

報道機関用提供資料	
担当課	こども家庭部 県民活躍推進課
担当者	青少年グループ GM 櫻庭 知美
電話番号	直通 017-734-9226
	内線 4372
報道監	こども家庭部 次長 大山 和也

令和6度前向きに生きる力を育むふれあいミーティングについて

1 目的

ふれあいミーティングの実施により、仲間や地域住民との対話を通じて、自己や他者を肯定的に受容する心を醸成するとともに、地域全体で子どもたちを見守る環境づくりを進め、子どもたちが未来に向かって前向きに生きる力を育む。

2 主催

青森県

3 テーマ

「思いやり」、「生命の大切さ」

4 実施校及び実施日時

(1) 中学校

地区	学 校 名	日 時
上北	十和田市立第一中学校	11月27日（水）13：45～14：45
下北	風間浦村立風間浦中学校	7月1日（月）13：35～14：40（実施済）
三八	八戸市立第二中学校	11月28日（木）13：40～14：40

(2) 高等学校

地区	学 校 名	日 時
東青	青森県立青森東高等学校	10月30日（水）13：30～14：30（実施済）
中南	青森県立弘前南高等学校	9月30日（月）14：30～16：00（実施済）
西北	青森県立五所川原工科高等学校	9月4日（水）13：45～15：15（実施済）

5 コーディネーター

坂本 徹 氏（特定非営利活動法人 日本人財発掘育成協会 理事長）

平間 恵美 氏（特定非営利活動法人 はちのへ未来ネット 代表理事）
（青森県教育委員会 教育委員）

船木 昭夫 氏（青森大学社会学部 教授）

渡部 靖之 氏（青森県総合社会教育センター指定管理者
学び・生かすあおもりグループ 事務局長）

三上 健（青森県子ども家庭部県民活躍推進課 主幹）

6 特別講師

中島 美華 氏（フリーリポーター）

7 実施方法

円形小グループのワークショップ形式

生徒に地域住民及び大学生を加えた8人程度のグループをつくり、ワークショップを行う。グループ内でテーマについて一緒に考え、意見を伝え合う。当日の進行はコーディネーター又は特別講師が行う。また、グループのファシリテーターは大学生が行う。

【60 分間の進行イメージ】

- ①開会 (2分)
- ②アイスブレイク (10分)
- ③「思いやり」か「命の大切さ」のワークショップ (33分)
- ④アンケート・感想発表 (10分)
- ⑤閉会 (5分)

全体 60分

【90 分間進行イメージ】

- ①開会 (2分)
- ②アイスブレイク (10分)
- ③「思いやり」と「命の大切さ」のワークショップ (63分)
- ④アンケート (10分)
- ⑤閉会 (5分)

全体 90分